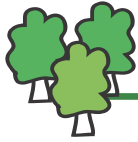




あすもりサポーター通信



「第7回コープの森植樹祭」を開催しました。



6月7日(土)、当別町にある道民の森神居尻地区のFの森で、過去最高の305名の方が参加して、植樹祭を開催しました。親子での参加が多く、91名のお子さんに植樹を楽しんでいただきました。今年は早朝に会場入りして準備作業をする先発隊として、コープさっぽろの新人職員とともに、助成先団体の「NPO 法人 ezorock」の若手スタッフが参加して、植樹地までの沿道の道案内のぼりの設置、車の誘導、会場設営などがいつもよりスムーズに行うことができました。

植樹祭の開会式の後、少し離れた植樹地へ移動しました。移動中は森づくりワークショップのメンバーがガイドを担当し、季節ごとに見られる動植物など、Fの森について説明しながら案内しました。植樹地では、Fの森の本来の植生を考えながら、ワークショップで1年かけて練り上げてきた植樹プランをもとに、22種1000本の苗木を5か所に分けてランダムに植えました。

また、将来の散策が楽しめるようにと設けたトレイル(通路)が交わる地点に、アカエゾマツのシンボルツリーを3本ずつ、子どもたちが中心になって植えました。参加者からは「もっと植えたかった」「石がゴロゴロ埋まっていたが、新人職員さんが取ってくれたので助かった」「来年もまた参加したい」「どんな森になるか楽しみ」など、これからの森づくりに期待が広がる感想が聞けました。

午後は親子組と大人組に分かれて過ごしました。親子組のうち、入学前のお子さんはネイチャーゲーム、小学生は動物あてゲームを楽しみました。賞品があると、さらに盛り上がりそうです。「自由時間ももっとほしい」という声もありました。来年度の企画に反映したいと思います。

大人組は3チームに分かれて、自然散策に出かけました。散策ガイドを担当した「NPO 法人もりねっと北海道」、「北海道林業技士会」の説明がとてわかりやすかったと好評でした。



今年はバスの中で福島子ども保養プロジェクト「北海道へ遊びに来てもらおう」への募金をお願いしました。5台合わせて15,000円のご協力をいただきました。ありがとうございます。みなさまの募金を活用して、福島子どもたちを7月20日から24日まで4泊5日で北海道に招き、日高を中心に過ごし、帰途には旭川市の旭山動物園を楽しんでもらうことができました。詳しくはコープさっぽろのホームページで近日ご報告します。http://www.coop-sapporo.or.jp/

「富良野自然塾で植樹と自然を体験しよう！」

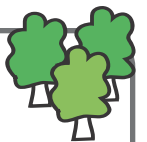
※同封の案内チラシもご覧ください。

富良野市にある「富良野自然塾」で植樹と体感型自然環境教育を体験してみませんか？

地球の歴史を凝縮したオリジナルの自然環境教育プログラムは、日常では体験できない貴重な機会です。プログラムの最後にはゴルフ場跡地の自然復元エリアへ植樹します。同塾の塾長で、ドラマ「北の国から」の脚本家でもある倉本聡さんにお話をうかがう予定です。

「フラノマルシェ」でのお買い物ものタイムもあります。

- 日 程：9月20日(土)※雨天決行
- 集合場所：JR札幌駅北口・鐘の広場 8:15集合、17:10解散
- 参加対象：小中学生～大人 ※未就学のお子さまは参加できません
- 参加費：大人3,000円、小・中学生1,500円
(環境プログラム参加費、バス代、昼食代含む)
- 募集人数：45名 ※応募多数の場合は抽選
- 応募締切：9月6日(土)当日消印有効
- 応募方法：ハガキ・FAXまたはメールで、「富良野申込」と明記の上、参加者全員分の氏名・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号・年齢を記入してお申し込みください。
- 応募先：コープさっぽろ基金事務局
(ハガキ) 〒063-8501札幌市西区発寒11条5丁目10-1
(FAX) 011-671-5743 (Eメール) csap.kasumori@todock.jp
- 問合せ先：コープさっぽろ基金事務局 稲垣・井上
TEL：011-671-5651 (受付/月曜から金曜日 10:00～17:00)



釧路地区

●白糠町上庶路 ● 5月31日 / トドマツ 400本

植樹方法の説明を聞いた後、ヘルメットを被って植樹作業を行いました。昼食後は上庶路生活改善センターに移動し、炭焼き見学、森林散策、木工体験を行いました。のこぎり初体験の子どもたちもいて、真剣に取り組んでいました。



苫小牧・室蘭地区

●むかわ町豊城、豊浦町桜 ● 5月17日むかわ/トドマツ480本、5月31日豊浦/トドマツ400本

豊浦町とむかわ町の2か所で森づくりを進めて5年、むかわ町での植樹は今年が最後です。小学6年のお子さんの「何年後に育った木を見てみたい」との感想があり、うれしかったです。どんな森になるか楽しみです。植樹後には木工体験を行いました。



小樽・石狩A地区

●真狩村「ごとう農園」 ● 5月24日 / カラマツ 150本

日頃から交流のある「ごとう農園」さんの土地に植樹して4年目になります。まず、苗木の成長を見学し、未来の森をイメージしながら植樹をしました。植樹後は周辺散策、しいたけの菌をほだ木に植える作業や野菜収穫などを楽しみました。昼食には同農園産の野菜入りの豚汁、散策で採ったウドやアスパラの天ぷらをいただきました。



旭川地区

●東川町北五線の沢 ● 6月7日 / イタヤカエダ・ナナカマド各200本

旭岳連峰を望む森の中でお弁当を食べたのが好評でした。参加者からは「原生林を開拓した屯田兵の話が勉強になった」「先人の苦勞に思いを馳せながら植樹した。いい経験になった」「子どもが森に興味をもった」などの声が寄せられました。



札幌西地区

●喜茂別町尻別 ● 6月14日 / ホウノキ 300本

エゾシカの食害がひどかったので、シカ食害防除用の「くわんたい」を苗木に取り付けています。この方法を導入してから食害がなくなり、苗木の成長が楽しみになりました。今年は前日までの雨のおかげで地面がやわらかく、穴を掘るのが楽でした。



北見地区

●美幌町占梅 ● 6月21日 / トドマツ 400本

今年から新しい植樹地です。ゆるく傾斜した土地で、スコップを入れてみるとササの根がびっしりと張っていました。穴を掘るのが大変で、男性も手こずっていました。午後は木の笛や竹とんぼ、ソーラーカー作りなどの体験企画を行いました。北見地区では初めての企画でしたが、子どももおとなも、ものづくりに夢中になっていました。

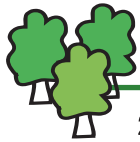


帯広地区

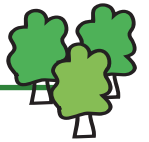
●上士幌町ナイタイ高原 ● 6月15日 / トドマツ 200本

ナイタイ高原での植樹は今年で最後です。今年は士幌高校に呼び掛け、生徒たちが参加してくれました。苗木がエゾシカに食べられることなく、成長してほしいです。午後は木育マイスターの「緑の木育・茶色の木育」と題する森と木のお話を聞いた後、「木育」として自然にやさしい虫除けづくりを体験しました。





コープの森 全道各地区の植樹祭報告



2014年度の春の植樹は全道11カ所で940名が参加して、2.32haの土地に計4,490本を植えました。各地区の植樹活動のようすは、コープさっぽろホームページの組合員活動ブログに掲載されています。

◆日々の活動日記「みんなのぶろぐ」 <http://www.coop-sapporo.or.jp/contents/view/id/245>

※札幌地区開催の「第7回コープの森植樹祭」については、本通信の1面をご覧ください。

南空知・石狩B地区

●栗山町桜山 ● 5月17日 / トドマツ480本

昨年に引き続き、今年も雨の中の開催でした。参加者が多く、バス2台でのツアーになりました。初めて参加する方は穴を掘るのに苦労していましたが、「いい経験になった」「楽しかった」という感想が多く、ほっとしました。毎年、コープさっぽろの職員さんが多方面で協力してくださるので、頼もしいです。



函館地区

●知内町湯の里 ● 5月18日 / ミズナラ、アオダモ、ハリギリ、ハウノキ合計280本

道南に適した5種類を植えています。植樹計画を立てる段階から組合員さんに参加してもらい、樹種や本数なども一緒に決めていきます。「子どもと一緒に参加できるので楽しい」と親子で参加する方が増えてきて、今後が楽しみです。現地学習も「興味深い内容だった」と好評でした。



森づくりワークショップ報告(道民の森・Fの森)



第1回ワークショップ(開催日:2014年5月24日)

春の育樹会との同時開催で、第1回ワークショップを実施しました。森づくりワークショップ(以下、WS)メンバー11名、あすもりサポーター16名にスタッフを加えた総勢36名が参加しました。まず、Aゾーンで折れた木に添え木をする育樹作業を行った後、Fの森に移動して、植栽木調査を行いました。調査は設定した区画内の木の高さ、長さ、折れ、食害などを測定して記録しました。樹種によって雪に弱く折れの激しい種類や食害が目立つ種類、すくすく育っている種類があることを実感できました。

昼食後はFの森で、育樹会チームとWSチームに分かれました。育樹会チームは折れた苗木に添え木をする作業を行い、WSメンバーは6月7日に開催する植樹祭の散策ルートを見、当日のイメージをつかみました。

WSメンバーは札幌到着後、コープさっぽろ北12条店に移動して、15:30から植樹祭の進行や役割を確認しました。「植えた後の成長を確かめるのはとても有意義。今後とも調査を続けたい」「木の特性がわかり、来年の樹種を選ぶときの参考になる」「木の成長や生き延びる率がわかった」などの感想が寄せられました。



第2回ワークショップ(開催日:2014年7月26日)

激しい雨の中でしたが、木にとっては恵みの雨です。24名で雨にも負けず、調査や散策をしました。まず、第1回WSで調べられなかった、ナナカマドとシラカンバの植栽木調査を行いました。幹は傷んでいても、脇から萌芽が出ている木も多く、生命力の強さを感じました。昼食後は森林学習センターで来年度の植樹構想について意見を出し合いました。日本の樹種の豊富さは世界中でも珍しく、とても贅沢なことだそうです。「サクラや実のなる木を植えたい」「鳥のエサになる木もいい」など活発に意見が交わされました。来年もさらに樹種が増えそうです。また、「Fの森にある二つの出入口に名前を付けよう」という提案があり、「くるみ口」と「あかえぞ口」と命名しました。

Fの森に移動して、来年の植樹地を考えるために、植樹地を見渡せる丘まで歩きました。帰りのバスの中で、全員に感想を聞きました。「広いエリアを自由にプランニング出来る機会はそうそうない。100年後の人がFの森を見てびっくりするかも」「雨でもできることがある。雨天決行の意味がわかった」「このWSは楽しい。ずっと参加したい」など、満足感が伝わってきました。どんな植樹計画ができあがるか、今後のWSが楽しみです。



あすもり基金助成団体の森関連イベント情報 8月中旬～10月

※申込締切や参加費、持ち物などの詳細は主催団体へお問い合わせください。

開催日	時間	イベント名	場所	内容	主催団体	問合せ・申込先
8/17(土)	9:00 ～15:00	身近な森へ自然観察に出かけよう	札幌市・盤溪の森	自然散策	NPO法人北海道市民環境ネットワーク	011-531-0482 office@kitanet.org
8/22(金)	10:00 ～12:30	森のサロン「川あそびステップアップ編」	登別市・ふおれすと鉱山の森	自然散策 (未就園児)	NPO法人モモンガくらぶ	0143-85-2569 momonga@npo-momonga.org
8/23(土)	10:00 ～15:30	月に一度は森づくり! 半日(午前・午後) の参加もOK	苫小牧市「苫東・和みの森」	散策、木工、森 づくり等5種	苫東・和みの森運営協議会	0144-73-2565 nagominomori@wish.ocn.ne.jp
8/24(日)	10:00 ～15:00	お弁当もって森たんけん	登別市・ふおれすと鉱山の森	自然散策 (3歳～小学生)	NPO法人モモンガくらぶ	0143-85-2569 momonga@npo-momonga.org
8/30(土)	10:00 ～12:00	里山づくりの日「野鳥の森の日」	登別市・ふおれすと鉱山の森	野あそび、 森の手入れ	NPO法人モモンガくらぶ	0143-85-2569 momonga@npo-momonga.org
8/30(土)～31(日)		ウチダザリガニ!外来種? 水生生物の調査隊(函館発1泊2日)	旭川市江丹別町嵐山	自然観察調査 (小1～中3)	NPO法人NATURAS	0138-22-0990、メールは HPの送信フォームから
9/6(土)	9:00 ～16:00	木炭づくり体験(木酢液を持ち帰れます)	池田町・じゅんの森	炭出し、薪割り	NPO法人トカプチの森	0155-27-3161 (川田工業(株)内)
9/7(日)	10:00 ～12:00	花炭づくり体験(花炭の原材料持込みOK)	池田町・じゅんの森	花炭製作と アレンジ	NPO法人トカプチの森	0155-27-3161 (川田工業(株)内)
9/13(日)	10:00 ～15:00	鶴川源流から海へ～ 森歩きと川遊びの1日	占冠村～ 奥トマム鶴川源流域の森	自然散策	NPO法人北海道市民環境ネットワーク	011-531-0482 office@kitanet.org
9/19(金)	10:00 ～12:00	ガイドウォーク「旅する鳥の物語」	登別市・ふおれすと鉱山の森	自然散策	NPO法人モモンガくらぶ	0143-85-2569 momonga@npo-momonga.org
9/27(土)～28(日)		子ども森づくりキャンプ 「ひみつきちに泊まってみよう」	苫小牧市「苫東・和みの森」	森づくり、 自然散策	苫東・和みの森運営協議会	0144-73-2565 nagominomori@wish.ocn.ne.jp
9/28(日)	10:00 ～15:30	月に一度は森づくり! 半日(午前・午後) の参加もOK	苫小牧市「苫東・和みの森」	散策、木工、森 づくり等5種	苫東・和みの森運営協議会	0144-73-2565 nagominomori@wish.ocn.ne.jp
9/28(日)	9:00 ～13:30	第8回コーザン・グリーンレース	登別市・ふおれすと鉱山の森	森林マラソン 1km～20km	NPO法人モモンガくらぶ	0143-85-2569 kgr@npo-momonga.org
10/5(日)	9:30 ～12:30	どんぐり記念日	釧路町・達古武自然保護地内の苗畑	種子拾いと 苗木づくり	NPO法人トラストサルン釧路	0154-44-5022
10/11(土)	未定	森のようちえん「里山体験」	栗山町・ハサンベツ里山センター	自然散策(3歳～ 小学生低学年)	NPO法人EnVision環境保全事務所	011-726-3072 k-hama@env.gr.jp
10/13(祝)	8:30 ～16:00	管理道路砂利引き & 苗木の手入れ	平取町・チコロナイの森	森づくり、 苗木手入れ	NPO法人ナショナルトラスト チコロナイ	akemi-oae@pop02.odn.ne.jp
10/25(土)	10:00 ～15:30	月に一度は森づくり! 半日(午前・午後) の参加もOK	苫小牧市「苫東・和みの森」	散策、木工、森 づくり等5種	苫東・和みの森運営協議会	0144-73-2565 nagominomori@wish.ocn.ne.jp

- イベントの詳細は主催団体のホームページで確認できます。
- あすもり基金のFacebookページでは、助成先団体のイベント情報を随時ご紹介しています。
- ・ NPO法人EnVision環境保全事務所 <http://www.env.gr.jp/> /
- ・ 苫東・和みの森運営協議会(いぶり自然学校) <http://nagominomori.no-blog.jp/weblog/>
- ・ NPO法人トカプチの森 <http://www.tokapchi-forest.jp/> /
- ・ NPO法人トラストサルン釧路 <http://homepage3.nifty.com/trustsarun/>
- ・ NPO法人ナショナルトラスト・チコロナイ <http://blog.goo.ne.jp/cikornay/> /
- ・ NPO法人NATURAS(なちゅらす) <http://naturaskids.wix.com/naturas/>
- ・ NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ <http://npo-momonga.org/> /
- ・ 認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク <http://www.kitanet.org/>

あすもり事務局から



● 2015年度助成団体の応募受付のお知らせ ●
あすもり基金では北海道の森づくり団体を応援する「森づくり助成制度」を設けています。これまで、植育樹の実践や森をフィールドにした環境教育、住宅や玩具・木質バイオマスの普及啓発など、森づくりや木づかい活動に取り組む団体などに助成してきました。現在、2015年度の助成先を募集中です。応募期間は8月1日から9月30日までで、100万円を上限に事業案件に助成する高額助成と、10万円を団体に助成する小額助成があります。詳細は同封のチラシをご覧ください。

● 「秋の育樹会」のお知らせ ● 「秋の育樹会」を10月4日(土)に行います。JR札幌駅から道民の森へバスで向かい、育樹作業と苗木の成長調査を行う予定です。詳細が決まり次第、ホームページなどでご案内します。

あすもりのドングリマークを真ん中に入れたQRコードが出来ました。



携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、あすもりのFacebookページを開くことができます。
<https://www.facebook.com/coop.asumori>

森の本

毎号1冊、森づくりに関するおすすめの本を紹介します。

神去なあなあ日常

著者:三浦しをん
発行元:徳間文庫



都会育ちの18歳、平野勇氣。高校を卒業後、ひよんなことから、山村の林業研修生になっちゃった。

なりゆきで始まった、山奥で暮らす人々との1年の物語です。厳しい自然を畏(おそ)れ、地道で、時に危険なこともある林業の現場。長い時間軸を基本に据えた村の暮らし。読み進めるうち、忙しい日常を振り返り、少し足を止めてみたくになります。軽やかな文体ながら、森と人の生命力を感じる一冊です。今年公開された映画「WOOD JOB(ウッジョブ)!～神去なあなあ日常」の原作本です。(基金運営委員・金子祥子)



コープ未来の森づくり基金事務局

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10番1号
TEL 011-671-5651 FAX 011-671-5743

制作:コープ未来の森づくり基金 編集:あすもりサポーター 井上久子